

科目名	在宅看護概論	時期		時間	単位
担当教員	専任教員 専任教員は看護師として実務経験が5年以上あり、その経験を活かして授業を行う	2年次	前期	30時間	2単位
学習目標	1 在宅看護の変遷と社会背景から在宅看護の現状を理解する 2 在宅看護の目的と特徴を理解する 3 在宅看護の対象者と看護活動の特徴を理解する 4 在宅ケアにおける関係機関・関係職種との連携を理解する 5 在宅看護に関する諸制度を理解する 6 社会資源活用における看護師の役割を理解する				

授 業 計 画			
回数	項目	内容	方法
1～3	在宅看護の概念	1 日本の在宅看護の歴史と現状 2 地域医療を支える看護 3 在宅看護の倫理と基本理念 4 在宅ケアと在宅看護 (1) 在宅療養者へのケア (2) 在宅ケアの目的、看護の特徴、 (3) 継続看護、訪問看護師と保健師の役割	講義
4～7	在宅療養者と家族への支援	1 訪問看護の対象者 2 在宅看護の対象者と在宅療養の成立条件 3 在宅療養者への看護活動 4 在宅看護と家族 5 家族介護者の個別性に応じた支援	講義
8～10	在宅ケアのマネジメントと関係機関・関係職種間の連携	1 在宅ケアとケアマネジメント (1) 在宅看護移行支援、継続看護と退院調整 (2) 地域連携クリニカルパス、退院支援部門と連携 (3) ケアマネジメントの展開、カンファレンス 2 地域包括ケアシステムと在宅ケア 3 在宅ケアと危機管理	講義
11～14	在宅ケアを支える制度と社会資源	1 社会資源の活用 2 在宅ケアを支える医療保険制度 3 高齢者を支える制度と社会資源 4 在宅難病療養者を支える制度と社会資源 5 在宅療養者の権威を擁護する制度と社会資源	講義
15	試験 (90分)		

使用テキスト	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論	河原 加代子 他	医学書院
	写真でわかる訪問看護アドバンス 国民衛生の動向	押川 真喜子 監修	インターメディカ 厚生統計協会
参考図書・資料等	DVD いのちと生活を看護する訪問看護サービス		日本訪問看護財団
	DVD 目で見る訪問看護 Vol.1 訪問看護とは		医学映像教育センター
評価方法	筆記試験・課題レポート等		

科目名	在宅看護援助論 I	時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師	2年次	後期	30 時間	1 単位
学習目標	1 訪問看護の特徴と訪問看護師の役割を理解する 2 訪問看護ステーションの設置運営・従業者・対象者・サービスと利用までの流れを理解する 3 訪問看護における看護過程の特徴を理解する 4 訪問看護における記録の意義や留意点を理解する 5 在宅療養者とその家族に応じた安全で安楽な援助技術を学ぶ				

授 業 計 画			
回数	項目	内容	方法
1～7	在宅療養を支える看護	1 訪問看護の特徴 (1) 訪問看護とは (2) 訪問看護の制度と現状 (3) 訪問看護における看護職 2 在宅ケアを支える訪問看護ステーション (1) 訪問看護ステーションの設置と管理運営 (2) 従事者 (3) 対象者 (4) サービス内容 (5) サービスの流れ (6) 利用料 (7) 訪問看護制度の課題と今後の方向性 3 訪問看護の実践 (1) 訪問看護における看護過程の特徴 (2) 訪問看護過程の実際 (3) 家庭訪問・初回訪問 4 訪問看護の記録 (1) 訪問看護記録の意義 (2) 訪問看護で使用する記録 (3) 記録時の留意点	講義
8～14	在宅における援助技術	1 食のアセスメントと援助 (1) 摂食・嚥下訓練法 (2) 在宅経管栄養療法 (HEN) (3) 胃瘻栄養法 (4) 在宅中心静脈栄養法 (HPN) 2 清潔のアセスメントと援助 3 移動時のアセスメントと援助 4 排泄のアセスメントと援助 5 呼吸のアセスメントと援助 (1) 呼吸理学療法 (2) 気管カニューレ (3) 在宅酸素療法 (HOT) (4) 在宅人工呼吸療法 (HMV) (5) 非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV) 6 感染予防・体温・体位のアセスメントと援助 7 服薬管理の実際 8 ターミナル期の援助 (1) 疼痛コントロール (2) ターミナル期のケア	講義・演習 <レベルⅢ> 11. モデル人形での経鼻チューブの挿入・確認ができる
15	試験 (90分)		

使用テキスト	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 写真でわかる訪問看護アドバンス	河原 加代子 他 押川 真喜子 監修	医学書院 インターメディカ
参考図書・資料等	看護過程に沿った対象看護 第4版	高木 永子 他	学研
評価方法	筆記試験・課題レポート等		

科目名	在宅看護援助論Ⅱ	時期		時間	単位
担当教員	専任教員 専任教員は看護師として実務経験が5年以上あり、その経験を活かして授業を行う	2年次	後期	30時間	1単位
学習目標	1 信頼関係を築くための訪問看護技術の基本を理解する 3 在宅療養者に対する災害対策の概要を理解する 4 事例から生活上の課題・在宅療養者と家族に応じた生活支援の方法と技術などを検討する 5 在宅看護における看護過程の特徴とそのプロセスを理解する				

授 業 計 画			
回数	項目	内容	方法
1	訪問看護技術	1 家庭訪問・初回訪問 2 在宅療養における看護過程の展開技術	講義・演習
2～3	在宅療養生活を支える基本的な技術	1 コミュニケーション 2 フィジカルアセスメント 3 環境整備 4 生活リハビリテーション 5 感染予防 6 ターミナルケア 7 医療ケアの原理原則	講義・演習
4	在宅療養を支える災害対策	1 在宅療養における災害対策 2 地域包括ケアシステムにおける災害対策 3 訪問看護師による災害時対応	講義
5～9	事例で学ぶ在宅看護の技術	1 事例による在宅看護 (1) 脳卒中後遺症 (2) 被虐待が疑われる認知症高齢者 (3) ALS・ギランバレー症候群・重症筋無力症 脊髄損傷等による療養者 (4) ターミナル期のがん患者 (5) 糖尿病のある独居高齢者 (6) 老々介護を開始する高齢療養者 (7) 重度心身障害児 (8) 膠原病の療養者	講義・演習
10～14	在宅療養における看護過程の展開	1 在宅療養における看護過程の特徴 2 事例演習 (1) 情報収集の視点 (2) 在宅看護の分析の視点	講義・演習
15	試験 (90分)		

使用テキスト	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論	河原 加代子 他	医学書院
	写真でわかる訪問看護アドバンス	押川 真喜子 監修	インターメディア
参考図書・資料等			
評価方法	筆記試験・課題レポート等		

科目名

在宅看護論実習 2単位 90時間

実習目的	地域で療養する対象とその家族を理解し、住み慣れた地域で安心して療養生活を送ることを支援するための看護師の役割と地域包括ケアシステムにおける多職種連携・協働の実際を学ぶ
実習目標	<ol style="list-style-type: none">1 地域で療養する人々の健康と生活を支える多職種連携・協働の実際を理解する2 地域で生活する人々の健康状態や生活に応じた支援を理解する3 施設で療養する人々の暮らし方と健康維持及び生活を整える援助を理解する4 在宅で療養する対象とその家族の健康状態と暮らし方に応じた看護を理解する5 地域包括ケアシステムにおける看護師の役割について考察する